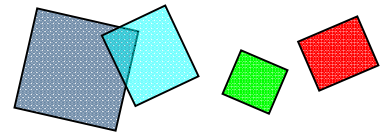


勇 気 凛 凛

コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…



【地域貢献】木田小学校で防災を考える授業開催／ひとり親家庭を支援

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

同社は木田小学校で防災を考える授業を開催した。4～6年の児童約55人が4～5人のグループに分かれ、地震などの災害時に自宅の庭で避難生活を送ることを想定して「避難できる庭」をデザイン、防災の大切さを学び合った。
(2022.9.6 岐阜新聞掲載)

同社と（一社）ウーマンエンパワーメントプラットフォームは、昨年8月末までの1年間でSDGsのバッジを企業や個人に販売、その売上金を活用し、岐阜市母子寡婦福祉連合会にランドセル11個と現金10万4,398円を寄付した。
(2022.9.11 岐阜新聞掲載)

【限定販売】中秋の名月に合わせて歳時菓『十五夜』を販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、中秋の名月に合わせ、9月9、10日の2日間限定で歳時菓『十五夜』を販売する。月に見立てた曲げわっぱにウサギやきねの形のまんじゅう5個を詰め合わせたもので、発売21年目を迎える人気商品。1箱1,500円。購入者には数量限定でススキのプレゼントがつく。
(2022.9.8 岐阜新聞・中部経済新聞掲載)

【開設】EVを活用した訪問介護事業所『是花』開設

東濃地区：(株)是々非々 代表取締役 佐藤洋平・(株)エネファント 代表取締役 磯崎頭三

是々非々は、多治見市上野町に訪問介護ステーション『是花』を開設した。エネファントと提携し、訪問介護用車両に小型電気自動車（EV）を導入、移動時のCO2排出量を削減するとともに、在宅療法サービスの非常用電源として活用する。
(2022.9.11 岐阜新聞掲載)

【新事業】おむすび専門店開店

西濃地区南支部：河合寿司 代表取締役 河合敏直

同社は今年3月に、次の商圈である岐阜地域への足がかりとして、本巣郡北方町に新業態のおむすび専門店『おむすび屋かわいのはなれ』を開店した。今後は『おむすび屋』を軸に出店を進め、これまでの寿司・弁当と合わせ3本柱で事業を展開していく。
(2022.9.13 岐阜新聞掲載)

【商品展開】自社ブランド『reon』の商品『pegboard hinoki stage』販売

西濃地区中支部：(株)エイワ 代表取締役 佐藤全良

コロナ禍、社内のコミュニケーション不足解消のために技術を生かしたアイデア商品を作ったことを機に、端材を利用した表札やワゴン等を商品化、自社ブランド『reon』が立ち上がった。『pegboard hinoki stage』は東濃ヒノキとスチールを組み合わせた卓上収納台。工場で使われている自作の作業台をヒントに、一般向け商品として開発したもの。
(2022.9.14 中日新聞掲載)

【新商品】オフィス向け木枠スタンド付きホワイトボードを販売

岐阜地区南支部：(株)やまもく 代表取締役 山田等

同社は業者から依頼を受け、木枠スタンド付きのホワイトボードを開発した。木枠部分はナチュラル・こげ茶・白の3色、キャスター付きでホワイトボード部分にはマグネットも使える。大きさは、A4対応、A3対応の2種で、それぞれ税込26,000円と28,000円。同社HPやインターネット通販にて販売する。
(2022.9.21 中日新聞掲載)

【新出店】JR一宮駅のアスティー宮内に、どら焼き専門店開店

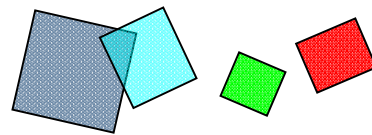
西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、新業態となるどら焼き専門店『柏屋光章』をアスティー宮内にオープンする。店頭で焼くどら焼き『宝』とスイーツのような新感覚の洋風どら焼き『ふわふわ宝』を、それぞれ6種類販売。毎月、季節限定商品も用意される。
(2022.9.17 岐阜新聞・9.22 中部経済新聞掲載)

勇 気 凛 凛

コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…



【販路拡大】キッチンカー『ワラベジ号』導入

中濃地区加茂支部：桜井食品(株) 代表取締役 桜井芳明

国産初の無添加ラーメンをはじめ、食物アレルギーのある人やビーガンでも食べられる食材を扱う同社は、体に優しいファストフードを合言葉にキッチンカー『ワラベジ号』を導入、有機食材を中心とした自社製品の販路開拓につなげる。
(2022. 8. 17 岐阜新聞掲載)

【新工場】池田町上田に新工場建設

西濃地区北支部・共栄化成(株) 代表取締役 安藤篤志

同社は、本社から北東約2キロメートルの池田町上田に新工場を建設する。約8,250平方メートルの敷地に、2,400平方メートルの平屋建て新工場を建設、合わせて新たな機械を導入し、生産能力の増強を図る。本社機能移転も検討。2023年8月完成、23年度内の稼働を計画している。
(2022. 8. 17 中部経済新聞掲載)

【表彰】県警安全運転表彰で銀賞受賞

西濃地区中支部：アーボ(株) 代表取締役会長 杉村和敬

同社は、ドライバーの無事故・無違反で成果を上げた優秀安全運転事業所として県警本部から表彰され、銀賞を受賞した。
(2022. 8. 19 岐阜新聞掲載)

【新商品】『梅酒香る柿水まんじゅう』を9月中旬まで販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、自家製の干し柿『御前白柿』を玉泉堂酒造の梅酒『貴醸梅酒』に漬け込み、白あん、梅酒とともに炊き上げたあんを梅酒をたっぷり加えた生地包んだ『梅酒香る柿水まんじゅう』を9月中旬まで販売する。3個入、10個入、15個入があり、本店などの7店舗で、またはホームページからも購入できる。
(2022. 8. 2 中部経済新聞掲載)

【新事業】趣味性に富む『デイトナハウス』建設事業を展開

中濃地区加茂支部：エコソニック 代表 後藤直也 (㈸後藤板金 代表取締役)

同社は、これまで進めてきた太陽光発電事業に加え、ショールーム、コワーキングスペース、シェアオフィス、ジムを備えた『デイトナハウス』建設事業を展開し、新しい働き方を提案する。また、小規模バイオガス発電の事業化に向けての取り組みもスタートさせる。
(2022. 8. 25 岐阜新聞掲載)

【商品開発】ロングセラー商品『スタミナー番』、さらに反響増

飛騨地区：山一商事(株) 代表取締役 山下喜一郎

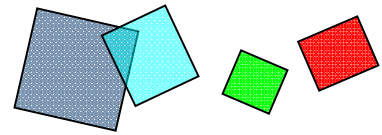
同社は自衛隊から「スタミナがつくご飯のお供を」との依頼を受け、主力商品である『飛騨の味なめ茸』をベースにニンニクなどを加えた『スタミナー1番』を開発。メディアで紹介されるなどして人気が高まり、全国にファンを得た。6月にはブラックペッパー入りの『スタミナー1番ブラック』を300個限定で販売。シンガポールのデパートでも販売されるなど、さらに反響を呼んでいる。
(2022. 8. 31 中日新聞掲載)

【新商品】洋風大福『ふわもち』の新商品『ふわもち～レトロモンブラン』発売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、栗の旬に合わせ岐阜県産の蜂蜜を使用したブッセと国産栗入りの生クリーム、自家製カスタードを柔らかい求肥で包み、その上に栗風味の白あんを絞って栗の甘露煮をトッピングした『ふわもち～レトロモンブラン』を発売する。1個税込380円。
(2022. 9. 1 中部経済新聞掲載)

勇 気 凛 凛



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【新設】地元企業 4 社と連携し電気代軽減サービス『フリエネ』を導入した住宅の展示場開設

東濃地区：(株)エネファント 代表取締役 磯崎頭三

契約期間の 20 年間、遠隔システム見守りサービスと遠隔サポートの経費となる月額基本料 3,270 円を毎月払うだけで電気代とメンテナンス費用が無料になる『フリエネエネルギーハウス』を提案する同社は、地元 4 社と連携し、フリエネを導入した 4 棟による住宅展示場を土岐市に開設。7 月 23、24 日、開設イベント『TONO 家万博』を開催する。
(2022. 7. 22 中部経済新聞掲載)

【キャリアデザイン】大学生が地元企業の課題解決にとりくむ授業に協力

中濃地区関美濃支部・わさび屋(株) 代表取締役 森紀子

岐阜聖徳学園大学と岐阜信用金庫、県信用保証協会が連携した授業『キャリアデザイン』において、同社が協力、3 年生を中心に約 85 人が参加した。学生たちはワサビの魅力やワザビ屋の販売促進についての研究発表を行った。
(2022. 7. 23 岐阜新聞、中日新聞掲載)

【営業再開】ロビーラウンジ『CRANE』営業再開

西濃中支部：(株)フォーラムホテル（揖斐川工業(株)） 営業部長・外店事業部長兼任 山本幸二

同ホテルは、新型コロナにより休業していた 1F ロビーラウンジ『CRANE』を約 1 年半ぶりに再開、ランチの提供を開始した。また 8 月 21 日には、3 年ぶりに人気イベント『ニューオリンズ・ジャズフェスティバル in 大垣』も開催する。ディナー付で 15,000 円。定員 240 名。チケットは残りわずかとのこと。
(2022. 8. 2 中部経済新聞掲載)

【新商品】『梅酒香る柿水まんじゅう』を 9 月中旬まで販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、自家製の干し柿『御前白柿』を玉泉堂酒造の梅酒『貴醸梅酒』に漬け込み、白あん、梅酒とともに炊き上げたあんを梅酒をたっぷり加えた生地包んだ『梅酒香る柿水まんじゅう』を 9 月中旬まで販売する。3 個入、10 個入、15 個入があり、本店などの 7 店舗で、またはホームページからも購入できる。
(2022. 8. 2 中部経済新聞掲載)

【事業展開】恵那市と協働して電動アシスト自転車によるシェアサイクル事業開始

東濃地区：(株)エネファント 代表取締役 磯崎頭三

同社は、専用アプリをインストールし会員登録することで電動自転車の利用予約や決済がスマホで行え、どのサイクルステーションでも貸出・返却可能なシェアサイクル事業を恵那市と協働で開始、J R 恵那駅や市役所など、複数の公共施設にステーションを設置した。多治見市、名古屋市に次いで 3 件目の事業。
(2022. 8. 4 中部経済新聞掲載)

【安全教育】所内で交通安全講話開催

岐阜地区北支部：税理士法人 T A C T 高井法博会計事務所 会長 高井法博

職員の 9 割以上が業務や通勤で車を利用する同事務所は、職員の交通安全の意識向上を図るため、岐阜中署から講師を招き、交通安全講話を行った。
(2022. 8. 5 岐阜新聞掲載)

【新商品】低価格規格住宅『ユメハウス→Z』を開発し、モデルハウス建設

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

同社は高い耐震性・断熱性を持つ低価格規格住宅『ユメハウス 7 → Z』を、東京都の住宅商品開発会社と共同で開発した。木造 2 階建て、太陽光パネル付きの本体価格は、24 坪で 1345 万円（税別）から。美濃加茂市と岐阜市にモデルハウスをオープン、年間 24 棟の成約を見込む。
(2022. 8. 9 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

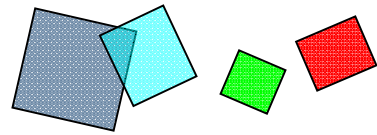
ゆう

き

りん

りん

⑤3

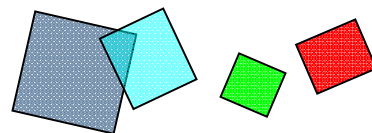


コ ロ ナ 禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【社会貢献】 創立 60 周年の節目に寄付
岐阜地区各務原支部：風建設(株) 代表取締役 森幹治
同社は創立 60 周年を迎え、7 月 9 日にグランヴェール岐山にて記念式典を開催、社会福祉に役立ててほしいと中日新聞社会事業団に 10 万円を寄付した。 (2022. 7. 12 中日新聞掲載)
【会社見学】 地元の高校生が工場見学
西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株)
大垣商業高校情報科の生徒 47 人が同社工場を見学した。グループに分かれ、製版から印刷、製本までの一連の工程を見学、合わせてデザインの担当者による講義も受講した。(2022. 7. 12 中部経済新聞掲載)
【新商品】 飛騨の民芸品・さるぼぼの形をした『さるぼぼアイス』発売
飛騨地区：(株)ゴーアヘッドワークス 代表取締役 蒲優祐
同社は飛騨地域の新しい名物をつくろうと、「さるぼぼ」の形をしたアイスクリームを一般発売した。飛騨牛乳や雪見イチゴなどの地元の食材をふんだんに使用、パッケージには頭巾やちゃんちゃんこのイラストがデザインされている。1 個税込 473 円。 (2022. 7. 15 中日新聞掲載)
【全国大会出場】全日本実業団選手権大会と全日本総合選手権大会にダブル出場
西濃中支部：(株)フォーラムホテル（揖斐川工業(株)） 営業部長・外店事業部長兼任 山本幸二
同社の実業団チーム『大垣フォーラムホテル男子ソフトボール部』は、7 月 23 日から青森市で開かれる全日本実業団選手権大会と、9 月 17 日から熊野市で開かれる全日本総合選手権大会の両方に出場することになり、石田大垣市長を表敬訪問した。それぞれ 11 回目、2 回目の出場となる。(2022. 7. 15 中部経済新聞掲載)
【連休記録】 2022 年夏休み連休、中部主要企業の中で第 2 位
西濃地区東支部：未来工業(株) 代表取締役 山田雅裕
同社の 2022 年夏休みは、8 月 11 日から 21 日までの 11 連休。中部主要企業の中では、16 連休の日本ガイシ小牧事業所について 2 番目に多い。 (2022. 7. 15 中部経済新聞掲載)
【イベント】 宿泊客限定の郡上おどり体験会開催
中濃地区関美濃支部：(株)千虎観光 代表取締役 中島規夫
今年は 3 年ぶりに郡上おどりが開かれているが、日程の都合などで踊りに参加できない人にも体験してもらおうと、館内の多目的ホールにて郡上踊りの体験会を開いている。おはやしは生演奏。踊り方の講習もあり、うまい人には特製の「踊り免許状」を送る。 (2022. 7. 20 岐阜新聞掲載)
【セミナー】 岐阜市職員向けの広報セミナー開催
岐阜地区北支部：(株)中広 管理本部総務部長 後藤健次郎
市民に市政の情報を届ける広報スキル向上を目的に、同社は岐阜市職員向けのセミナーを開催。同社イノベーション事業部の佐藤昌平クリエイティブ部長が講師を務めた。 (2022. 7. 20 中日新聞掲載)
【地域貢献】 特別養護老人ホーム・みずなみ陶生苑に介護用車いす 1 台を寄贈
東濃地区：(株)みわ屋 取締役 三輪祐治郎
同社と大垣共立銀行は、地域応援私募債の発行手数料の一部を利用して、みずなみ陶生苑に介護用車いす 1 台を寄贈した。 (2022. 7. 22 中部経済新聞掲載)

勇 気 凛 凛



… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【SDGs】 ガラス瓶のリサイクル事業に着手 西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株) 同社は、ガラス瓶のリサイクル事業『BinLoop』の一環として、イオンモール大垣の協力を得て店内にガラス瓶の回収ボックスを常設する。消費者の利便性向上と SDG s に貢献する取り組みとして、回収協力を呼びかけていく。 (2022. 6. 27 岐阜新聞掲載)
【返礼品】 一人用ワークデスクをふるさと納税返礼品に 西濃地区北支部：サンヒロ(株) 代表取締役 松本晋哉 同社は、揖斐郡池田町からの依頼を受け、コロナ禍で増えた在宅勤務を想定した一人用のワークデスクを開発、町のふるさと納税の返礼品として提供した。横 100 センチのコンパクトサイズ。抗ウイルス機能を備えた天板部分は耐久性にも優れ、天板と脚部分の組み合わせで 12 通りの色が選べる。 (2022. 6. 30 岐阜新聞掲載)
【地域貢献】 恵那署と連携し、高齢者向けの防犯・交通安全活動を行う 中濃地区関美濃支部：河上薬品商事(株) 代表取締役 河上宗勝 高齢者宅を訪問する機会が多い同社は、訪問時、防犯などに関する情報やグッズを合わせて提供し、恵那署と連携してニセ電話詐欺防止や交通事故被害防止に向けた防犯・交通安全活動を行う。警察と配置業者との連携は全国的にも珍しく、県内では初。 (2022. 7. 1 岐阜新聞、中日新聞掲載)
【30周年】 開局30周年式典開催 【新社屋】 本社南棟など建て替え発表 西濃地区北支部：(株)大垣ケーブルテレビ 代表取締役 五十川智宣 同社は開局 30 周年を記念し、7 月 1 日、大垣市スイトピアセンターにて式典を開催した。市内企業の関係者や近隣市町などから約 50 人が出席、式典内で、本社南棟の建て替え、北棟のリニューアルも発表された。本年度中に着工し、来年度末ごろの完成をめざす。 (2022. 7. 1 岐阜新聞、中日新聞掲載)
【リニューアル】 干錦玉『みずのいろ』刷新 西濃地区南支部：(株)槌谷 代表取締役 堀富則 同社は、寒天と砂糖を煮詰め冷やして固めた夏の和菓子『みずのいろ』を、県産の梅酒や緑茶、みかんなどを使って 6 品全てでリニューアル、10 枚入り 1 箱を税込 2,000 円で予約販売する。7 月 7 日には、直営 7 店舗にて購入可能。 (2022. 7. 1 中部経済新聞掲載)
【イベント】 お客様感謝祭開催 岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地 同社は 7 月 3 日、瑞穂市の中山道大月多目的広場にて、顧客や地域住民向けの感謝祭を開催する。地元企業や高校も協力し、縁日コーナーや飲食ブースなど、多くの催しが行われる。 (2022. 7. 2 中部経済新聞掲載)
【新社屋】 来月5月に新社屋『ヤマニパーク』完成 岐阜南支部：(株)ヤマニパッケージ 代表取締役会長 吉田旭宏 同社は現社屋から 200 メートルほど南東の土地に、鉄骨造り 3 階建ての新社屋『ヤマニパーク』を建設する。1F はショールーム、2F は事務所、3F は社員食堂や会議室となる。また建物の外構は植栽を配置し『ヤマニの森』として整備。人々が交流する新社屋をめざす。 (2022. 7. 6 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

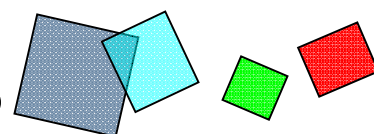
ゆう

き

りん

りん

⑤1



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【新商品】『清流の恵み 鮎どんぶりプロジェクト』の一環として新作料理を発表

西濃地区南支部：(株)デリカサイト 代表取締役 堀富則

同社は、県産業経済振興センターが運営する「県よろず支援拠点」が始めたプロジェクトの一環として、県産の稚アユや野菜を使った『岐阜県産稚鮎の彩り天井』を同社の『美濃味匠』2店舗にて販売する。6月20日～9月4日の期間限定。一つ600円。（2021.6.10 中日新聞掲載・6.15 岐阜新聞掲載・6.21 中部経済新聞掲載）

【勉強会】協力会社とともにカーボンニュートラル(CN)を学ぶ勉強会開催

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

同社は、6月9日、社員や協力業者に所属する企業代表者ら約80人とともに、CNを学ぶ勉強会を開催。昨年12月、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることなどを決めたCN宣言を発表、協力業者会とも連携協定を締結しており、勉強会での講演やグループワークを通して、脱炭素への行動を学び合った。（2022.6.10 岐阜新聞掲載）

【新商品】和洋折衷の新商品『ふわもち』発売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、大福とクリームケーキを組み合わせた和洋折衷の新商品『ふわもち』を販売する。1個320円。岐阜県産の蜂蜜やイチゴ、富有柿など、県産品も使われており、5種類の味が楽しめる。

（2022.6.16 中部経済新聞掲載）

【総代会】第24回総代会開催

岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹

同組合は岐阜市にて第24回総代会を開催、昨年度の事業報告や本年度の事業計画を含む4議案を承認した。今年度は宅配事業の一層の充実をめざす。総代会は73名が出席、414名が書面議決により参加し、任期満了に伴う役員改選も行われた。（2022.6.20 岐阜新聞掲載）

【新事業】副業を始めたい製造業の職人と一般消費者や企業をマッチングするサービス開始

中濃地区関美濃支部：(株)花井金型製作所 代表取締役 花井秀和

同社は、高い技術や経験を持つ職人と、小ロットの加工や試作を求める一般消費者や企業とのマッチングを行うウェブサービス『monozuku』を立ち上げ、実証実験をスタートした。3か月以内にサイト登録数20件をめざす。また実験後は機能を付加し、販売手数料による収益確保につなげる。（2022.6.21 岐阜新聞掲載）

【新出店】2店目の雑貨店オープン

岐阜地区南支部：三承工業(株) 潮大地

住宅メーカーである同社は、6月22日、2店目となる雑貨店『SUNDY sGOOD イオンモール各務原店』をオープンした。SDGsやエシカル消費を意識した商品など1,000点を取り扱う。オープン記念として、28日まで割引やクーポン配布などが行われる。（2022.6.23 岐阜新聞掲載）

【子会社化】クロスメディア事業を手がけるケイ・クリエイトを子会社化

岐阜地区北支部：(株)中広 管理本部総務部長 後藤健次郎

同社は、持分法適用会社のケイ・クリエイトの株式を7月1日に取得すると発表、ケイ社の子会社であるケイピースと合わせて2社が連結子会社となる。グループの広域化でメディア広告事業の業容拡大を図る。（2022.6.25 岐阜新聞掲載）

勇 気 凛 凛

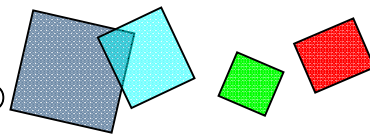
ゆう

き

りん

りん

⑤



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【新商品】水まんじゅうやブッセの手作りキット販売

西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則

同社は、コロナ禍で増えたおうち時間を楽しんでもらおうと、昨年、水まんじゅうの手作りキットを販売したが、加えて今年は『生地からつくろうブッセキット』も販売する。水まんじゅうキットには10個分の粉、自家製いちごミルクあんとしあん、大垣の水が、ブッセキットは小麦粉やアーモンドプードルがついている。アレンジも可。価格はいずれも税込1,500円。
(2021.5.25 朝日新聞掲載)

【障がい者雇用】コープぎふ芥見店にて「障がい者雇用スタートアップセミナー」開催

岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹

同組合は、1997年に初めて障がい者を採用。2011年には『働きたい！応援団ぎふ』サポータ企業第1号に登録、現在は県内9か所の配送センターと6つの店舗でそれぞれ1人以上が働いている。セミナーは3人が勤務する芥見店で行われ、県内企業3社4人が障がい者雇用の取り組みについて学んだ。
(2022.5.30 岐阜新聞掲載)

【新事業】店舗の駐車場や敷地を自由にデザインできる『デコマップ』展開

岐阜地区南支部：アース・クリエイト(有) 常務取締役 足立雅一

同社は、店舗の駐車場や敷地の路面を好みのデザインや色に仕上げる新規事業『デコマップ』をスタートした。公共事業が伸び悩む中、民間向けサービスとして強化していく。また将来はデコマップ事業を行う新会社を立ち上げ、全国でのフランチャイズ展開も視野に入れている。
(2022.6.1 中日新聞掲載)

【新商品】不織布の植木鉢『息する植木鉢』を商品化

岐阜地区各務原支部：岐阜化繊工業(株) 代表取締役 林領司

不織布メーカーの同社は、初の本格的BtoC商品として不織布の植木鉢を商品化、クラウドファンディングサイトで販売を開始する。素材は不織布製造時に出る端材やペットボトルなどのリサイクル原料を使った不織布で、SDGsに対応。通気性、保水性にも優れている。価格は、植物の種もセットで税込3290円から。
(2022.6.2 中部経済新聞掲載)

【新提案】車椅子生活者向けのリフォームセットを提案

西濃地区南支部：(株)T3 代表取締役 田端隆

同社は住宅改修工事会社と協力し、リモコンで電動開閉する玄関扉への交換と段差のない玄関へのリフォームのセット提案を開始した。バリアフリーリフォームで活用できる補助金などの情報提供も合わせて行う。今後は足腰が弱った高齢者への提案も視野に入れ、県内を中心に情報発信に注力する。
(2022.6.2 中部経済新聞掲載)

【新商品】トレーディングカードやブルーレイディスクの収納ケースを飾る額縁販売

岐阜地区南支部：(株)やまもく 代表取締役 山田等

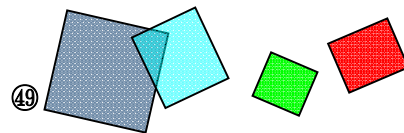
同社は、トレーディングカードやブルーレイディスクのケースがコレクション品として注目されていることを受け、これらをインテリアとして飾るための額縁を販売する。紫外線を防ぐアクリル板や取り出しやすさを意識した磁石による固定など、工夫が凝らされている。価格は2,000円からで、同社のECサイトにて販売。
(2022.6.7 岐阜新聞掲載)

【交流会講師】先輩起業家との交流会にて体験を語る

西濃地区中支部：(株)リリフル 代表取締役 金森律子

岐阜県は、起業に興味がある人や創業後10年未満の起業家を対象に、6月21日、オンラインにて『ぎふスタートアップカフェ』を開催する。同社の金森社長が講師を務め、起業時の体験を語るほか、参加者とのフリートークで交流を深める。
(2022.6.8 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛



コロナ禍

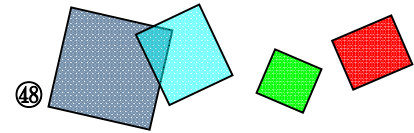
… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【新サービス】 パソコンのセキュリティ対策を分野ごとにパッケージ化して販売
西濃地区中支部：中部事務機(株) 支店長 岩田昇 同社は、業務のデジタル化やテレワーク、サイバー攻撃対策などの需要が高まっていることを受け、顧客が抱える課題に応じ、データのバックアップや無線環境の構築といった分野ごとのセキュリティ対策をパッケージ化して販売する。今年度中に9分野のサービスをそろえ、シリーズ全体で年間200社への販売をめざす。 (2022.5.3 岐阜新聞掲載)
【地域貢献】 私募債を活用して、ながら幼稚園にオーディオ寄贈
岐阜地区南支部：(株)サン・テンポラリー 代表取締役 後藤聡 同社は、発行手数料の一部を指定先の寄贈に充てる『じゅうろくSDGs私募債』を活用し、教育分野で貢献したいとの思いを込めて、本社の近くにあるながら幼稚園にオーディオプレーヤー6台を寄贈した。 (2022.5.7 岐阜新聞掲載)
【イベント】 飲食が楽しめる『MANTANマルシェ』を初開催
西濃地区北支部：揖斐石油(株) 常務取締役 末松敏康 同社は、本社の駐車スペースにて『MANTANマルシェ』を初開催、キッチンカーなど5店舗が出店し、2日間で約300人が来場した。店舗の認知度向上、LINEの登録者アップを目的に、今後も毎月の定期開催をめざす。 (2022.5.11 岐阜新聞掲載)
【限定販売】 地元素材を使ったどら焼きを7月中旬まで限定販売
西濃地区南支部：(株)槌谷 代表取締役 堀富則 同社は、新緑の季節に合わせ、池田町にある瑞草園の『美濃いび茶』をあんに、養老町にある玉泉堂酒造のこぼれ梅を生地に加えた『どら焼き 揖斐風味』を、直営6店と同社HPにて7月中旬まで販売する。1個税込200円。 (2022.5.12 中部経済新聞掲載)
【地域貢献】 約150発のサプライズ花火打ち上げ
中濃地区関美濃支部：(株)タカイコーポレーション 代表取締役会長 高井孝市朗 同社は、5月14日、長良川にかかる美濃橋付近で花火を約150発打ち上げた。打ち上げは社員や地元の児童施設、地元自治会のみ事前に告知。コロナ禍で祭やイベントの中止が続いた地域を元気づけようと、サプライズで行った。 (2022.5.16 中日新聞掲載)
【新パッケージ】 鵜飼の様子を表現したポップアップ式箱入りの鮎菓子販売
中濃地区関美濃支部：(有)虎屋 代表取締役 古田敦資・(株)リンクス 吉田房生 同社は、鵜飼シーズンのみ販売する鮎菓子を、ポップアップ式の箱入りで販売する。箱を開くと鵜匠と鵜が立体的に飛び出す仕組み。鮎菓子5本入り1パックがそのまま入り、1箱850円。箱の制作は、(株)リンクスが手がけた。 (2022.5.20 岐阜新聞掲載)
【子会社化】 サクセス社のメディア事業を完全子会社化
岐阜地区北支部：(株)中広 管理本部総務部長 後藤健次郎 同社は、サクセスホルダーズが新設分割で設立するメディア事業の承継子会社の全株式を取得し、完全子会社化する。サクセス社のメディア事業は関東・東北地域などで情報誌の出版を手掛けており、子会社化することで営業基盤と人的資源の拡充を図る。 (2022.5.20 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

コ ロ ナ 禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…



【新方式】LED ライトと太陽光を組み合わせたレタスのハイブリット栽培を開始

西濃地区中支部：ユニオン電子工業㈱ 代表取締役 児玉浩一

同社のグループ会社であるアグリラボは、昨年夏、天候不良で日照時間が少なく記録的な不作となったことから、良品率の向上や安定供給につなげるため、ハウス内に LED ライト 500 台を導入した。試験稼働の結果、葉が肉厚となり茎も太くなった他、育苗効率も改善。今後は春・夏季の効果検証を進める。また、鮮度を保つために根をつけたままでの販売もスタート。パッケージも一新し、需要拡大をめざす。
(2022.4.9 岐阜新聞掲載・4.19 中部経済新聞掲載)

【新商品】高齢者向け健康グッズを製品化

東濃地区：玉川窯業㈱ 会長 中島竹寿

同社は、高齢者向け健康グッズ『美濃焼にぎっ手！ぬくもり人形』を製品化する。合掌したお坊さんと女の子をモチーフにした手のひらサイズの 2 種を、陶磁器とタイルの技術を活用して製造。蓄熱性があるため、温かさを感じながら指の運動ができる。観光や寺社参拝の土産物となる美濃焼製品として販売展開する。
(2022. 4. 12 中部経済新聞掲載)

【研修会】建設業界の新入社員向け研修会で講義

岐阜地区各務原支部：風建設㈱ 代表取締役 森幹治

東海木造住宅協会が建設業界の新入社員向け研修会を開催。同社の森幹治社長が講師を務め、岐阜・愛知両県からの受講生 14 名に、3 日間にわたって業界の専門用語やマナー等の講義を行った。
(2022. 4. 14 岐阜新聞掲載)

【障がい者雇用】初めて取り入れた「超短時間雇用」の就業スタイルに手ごたえ

岐阜地区南支部：㈱デザインボックス 執行役員部長 山田尚紀

同社では、統合失調症などの病と闘う男性を週 3 時間だけ働く超短時間雇用で試験的に採用した。男性は、「やりがいがあり、生きがいにつながる」とパソコン入力による事務作業を積極的にこなす。また、採用側も男性の働きぶりやこれまで社員が勤務時間を割いていた処理作業を担ってもらえることから、超短時間雇用で手ごたえを感じている。
(2022. 4. 21 中日新聞掲載)

【オープン】セルフサービスのうどん店『麺あがっ亭』2号店オープン

西濃地区南支部：㈱デリカサイト 代表取締役 堀富則

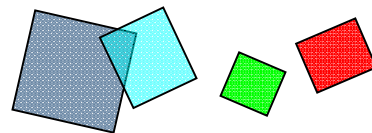
同社は、大垣駅前の商業施設『アクアウォーク大垣』に『麺あがっ亭』をオープンする。同業態としては 2 店舗目、麺類の店としては 3 店舗目。既存店舗での課題を見直し、うどん店としてのビジネスモデル構築と、より一層の麺類事業強化をめざす。
(2022.4.20 中部経済新聞掲載)

【発表会】配置薬事業を手がけるグループ10社の2023年3月期の経営計画発表

中濃地区関美濃支部：河上薬品商事㈱ 代表取締役 河上宗勝

同社は、可児市で 2023 年 3 月期の経営計画発表会を開催。4 月に山形県の協同薬品工業を子会社化したことにより、従業員 400 名、顧客 90 万件増。約 850 名の従業員体制で、グループ全体と飲料水事業を合わせて 200 億円の売上高をめざす。
(2022. 4. 23 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

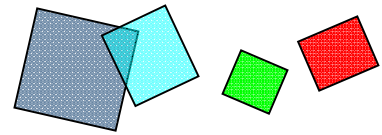


コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【設備投資】 本社工場に新印刷機 2 台導入 西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株) 同社は既存の印刷機の老朽化に伴う更新で、ドイツ・ハイデルベルグ製の印刷機 2 台を導入した。これまで 4 台で行っていた印刷を新規の 2 台で行うことができ、印刷効率を高めることができる。導入した機械は、県内で初めてのモデル。 (2022. 3. 15 岐阜経済新聞掲載)
【地域貢献】 穂積北中学校に非接触式温度検知器を寄贈 岐阜地区南支部：梅田運輸(株) 代表取締役 梅田裕治 同社は、発行手数料の一部を指定先の寄付に充てる『OKB 地域応募私募債』を活用し、非接触式温度検知器 1 台を本社近隣の穂積北中学校に寄贈した。 (2022. 2. 22 中部経済新聞掲載)
【地域貢献】 大垣市の 3 社がSDGs教育の充実に向け、大垣市と連携協定締結 西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株) 西濃地区中支部：(株)リリフル 代表取締役 金森律子 再生クレヨンを子どもたちに贈る『マーブルクレヨンプロジェクト』を展開している両社の活動を社会教育や家庭教育に生かし、SDGs 教育の充実を図るため、大垣市は両社を含む 3 社と連携協定を結んだ。今後 3 社は、市が開催する社会教育講座への講師派遣や講座開催にかかるノウハウを提供するなどの支援を行う。 (2022. 3. 22 中部経済新聞掲載)
【新事業】 オリジナルブランドの金属製工場家具『reon シリーズ』を市場に新投入・新展開
【受賞】 『中部IT経営力大賞 2022』受賞 西濃地区中支部：(株)エイワ 代表取締役 佐藤全良 同社は、得意とする精密金属加工技術を生かし、強度や安全性に配慮した工場用テーブルやワゴンなどを商品化、『reon シリーズ』として展開する。昨年 4 月に立ち上げた若手社員によるプロジェクトチームが開発を進めた。金属部材の組み合わせにより、カスタマイズも可能。EC サイトを中心に新販売する。 (2022. 3. 25 中部経済新聞掲載・3. 31 岐阜新聞掲載) 同社は、多品種少量生産に適した基幹システムや生産スケジューラーの導入で残業時間を半減させ、新規取引先を獲得したことが評価され、『中部 IT 経営力大賞 2022』を受賞した。 (2022. 3. 29 中部経済新聞掲載・3. 31 岐阜新聞掲載)
【支援】 ウクライナ支援に向け、『平和の願いとどけマス』販売 西濃地区中支部：(有)大橋量器 代表取締役 大橋博行 同社はロシアの軍事侵攻が続くウクライナを支援しようと、ウクライナ国旗をデザインした『平和の願いとどけマス』を発売した。1 個 1,500 円。売上金の 3 分の 2 を日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」に寄付する。 (2022. 3. 24 中日新聞掲載・3. 25 中部経済新聞、岐阜新聞掲載)
【フェア】 3 店舗でいちごスイーツフェア開催 西濃地区南支部：(株)樋谷 代表取締役 堀富則 同社は、三城店、赤坂店、アル・プラザ鶴見店の 3 店舗限定で、4 月 10 日まで「いちごスイーツフェア」を開催し、いちごを使った新商品等を販売する、岐阜県産いちごを使った『いちごのおゝ垣』（試供品）のプレゼントも企画されている。 (2020. 3. 29 中部経済新聞掲載)

勇 気 凛 凛



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【受賞】岐阜県ワークライフバランス推進エクセレント企業に認定

【新商品 PR】新ジャンルの金属製家具を PR

西濃地区中支部：(株)エイワ 代表取締役 佐藤全良

同社は、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進のロールモデルとなる企業として、今年度の岐阜県ワークライフバランス推進エクセレント企業に認定された。（2022. 2. 18 岐阜新聞掲載）

同社はデザイン会社との協業で、パーツを組み合わせていろいろな形を自由に作ることができる金属製家具を開発。大垣商工会議所が行った「新商品・新サービス合同プレス発表会」にて商品紹介を行った。（2022. 2. 24 中部経済新聞掲載）

【開発】岡山大学病院と共同で救急隊員らを新型コロナから守る救急搬送用シールドを開発

岐阜地区北支部：(株)ハイビックス 代表取締役 高井順子

岡山大学病院は、リハビリ用器具や床ずれ防止マットなどの製品を手がける同社の技術に着目。限られた空間に収納できストレッチャーにフィットする救急搬送用シールドを、2年かけて共同で開発した。気道確保や心肺蘇生などの措置にも対応。すでに岡山市消防局などに採用されている。

（2022. 2. 22 中部経済新聞掲載）

【新規参入】アグリ事業部を立ち上げ、農業に参入

西濃地区中支部：中部事務機(株) 支店長 岩田昇

同社は、農業従事者の減少や休耕地の拡大といった社会問題、食品の安全志向の高まり、IoTによるシステム構築の展開や定年を迎えた再雇用社員の活躍の場の創出などから、農業へ新規参入。各務原市の耕作放棄地で、コーヒーとパイナップルの試験栽培を行う。今後、栽培する商品の種類を増やすとともに販売システムの販売も目指し、収益化をめざす。（2022. 2. 26 岐阜新聞掲載）

【社会奉仕】「ぎふハッピーハッピープロジェクト」覚書に調印

岐阜地区南支部：(株)文化社 代表取締役 所貴佳

同社は、売上の一部を福祉団体に寄付することで団体の安定的な収入源確保につなげる「ぎふハッピーハッピープロジェクト」の覚書に調印した。市内の企業7社と3団体が社会奉仕活動で連携し、企業の社会貢献をアピールするとともに、市民の消費活動を寄付に結びつけていく。（2022. 3. 10 岐阜新聞掲載）

【コラボ商品】異業種とコラボしたギフト商品を企画

東濃地区：(有)鈴研 陶業 代表取締役 鈴木耕二

同社は多治見市の洋菓子店とコラボし、美濃焼タイルアクセサリー「マスクチャーム」にケーキとホワイトチョコレートセットしたギフト商品を企画。ホワイトデー向けのギフトとして、中小機構中部本部が主催するイベント『暮らしにギフト』に出展し、イベント限定で販売する。

（2022. 3. 11 中部経済新聞掲載・3. 12 岐阜新聞掲載）

【新商品】災害時に役立つ多機能の防災ばさみを商品化

中濃地区関美濃支部：ニッケン刃物(株) 代表取締役 熊田祐士

同社は、防災士の監修のもと、ペットボトルオープナーや缶のプルタブ起こし、段ボール開梱用のオープナーの機能を兼ね備えた防災はさみ『Supporter』を商品化、クラウドファンディングで発売した。持ち手部分は蓄光素材を使っており、暗い場所で光る。色は2種類、送料込3,200円。

（2022. 3. 12 岐阜新聞掲載・3. 16 中日新聞掲載）

勇 気 凛 凛

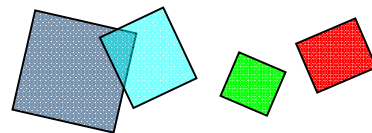
ゆう

き

りん

りん

㊤



コロナ禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【展示販売】恒例の展示販売会『大黄金博』開催

岐阜地区南支部：(株)岩田時計舗 代表取締役 岩田誠三郎

同社は2月11～13日、恒例の『大黄金博』を開催する。今回はミッキーマウスやハローキティをかたどった純金小判や純金のシマフクロウなど、約200点を展示。岐阜市に寄贈したJR岐阜駅前の『黄金の織田信長像』縮小版も展示される。
(2022. 2. 12 岐阜新聞掲載・中日新聞掲載)

【新商品】「春」を感じられる新商品2種販売

西濃地区南支部：(株)樋谷 代表取締役 堀富則

同社は2月18日から21日までの間、和菓子の詰め合わせ『和みのじかん〜如月』と洋菓子『ふじりんごと洋なしのタルト』を直営店舗にて限定販売する。それぞれ税込1200円と1,580円。
(2022. 2. 15 中部経済新聞掲載)

【新規事業】タイルの新しい価値創造を目的にジュエリーシリーズ『リジュイル』立ち上げ

東濃地区：(有)鈴研 陶業 代表取締役 鈴木耕二

同社は2013年からタイル素材を用いたアクセサリーの製造販売を行っているが、新たに規格外のタイルと釉薬を再利用したジュエリーシリーズ『リジュイル』を立ち上げた。2月末までクラウドファンディングのモーションギャラリーで先行販売。そこでの反響を踏まえ、4月12日から一般販売する予定。
(2022. 2. 17 中部経済新聞掲載)

【地域貢献】大垣市の3社がSDGs事業として不要のクレヨンを再生、大垣市に寄贈

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ(株) 西濃地区中支部：(株)リリフル 代表取締役 金森律子

短くなったクレヨンを回収して再生し子どもたちに贈る『マールクレヨンプロジェクト』の一環として、大垣市にマールクレヨンとクレヨンを入れる巾着のセット1316個、マールクレヨンプロジェクトノート3万8200冊を寄贈した。
(2022. 2. 17 中部経済新聞掲載)

【地域貢献】創立50周年を記念して大垣市に100万円寄贈

西濃地区南支部：(株)デリカスイト 代表取締役 堀富則

同社は創立50周年を記念して、市民の健康や子育て支援の充実に役立ててもらうため、大垣市に100万円を寄贈した。
(2022. 2. 17 中部経済新聞掲載)

【効率化】BMI導入により省力化。業界の人手不足解消をめざす

東濃地区：有建築設計舎 代表 坂崎有祐

同社は3年前からBMI（使用する建材や設備の情報をコンピューターに入力し、それらのパーツを使って建てる建築物の立体モデルを作成する設計技術）を本格的に導入し、若手社員が活躍できる場づくりに注力している。経験の少ない若手も仕事がしやすく、作業時間の削減、ミス防止に効果があり、働き方改革により、慢性的な建築業界の人手不足の解消をめざす。
(2022. 2. 20 岐阜新聞掲載)

【認定】本年度の岐阜市『ぎふし共育・女性活躍企業』に認定

岐阜地区北支部：村瀬建築(株) 社長 村瀬賢一

同社は特に男性の主体的な育児参画を積極的に勧めていることが評価され、本年度の『ぎふし共育・女性活躍企業』の認定を受けた。
(2022. 2. 20 岐阜新聞掲載)

勇 気 凛 凛

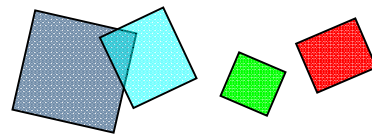
ゆう

き

りん

りん

④



コロナ禍

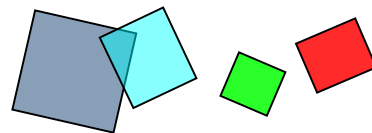
… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【地域貢献】 子育て世帯にカレーを 2000 食無料配布
東濃地区：スパイスファクトリーあべべ 代表 小島佑摩 毎月第一金曜日に開いている子ども食堂「あべべ食堂」の活動を普及するため、地元の有志 12 人とともに、子育て世帯にカレーライスを無料配布した。クラウドファンディングで集まった 128 万円を活用、地元企業から食材の提供も受け、通常の 6 倍ほどの 2000 食を提供した。 (2022. 1. 24 中日新聞掲載)
【新商品】 バレンタイン向け商品販売
西濃地区南支部：(株)榎谷 代表取締役 堀富則 同社はバレンタインデーに向け『カキショコラ 3 種』と『お濃茶ショコラ山なみせんべい』を新発売した。カキショコラは昨年販売し好評だったため、ホワイトチョコレートとルビーチョコレートを使用した 2 種類を追加。3 枚入 750 円で 3 月中旬まで、山なみせんべいは 1 個 200 円で 5 月末まで販売する。 (2022. 1. 22 中部経済新聞掲載・1. 25 中日新聞掲載)
【地域貢献】『戦争体験聞き書き』第 16 集を発行
岐阜地区各務原支部：生活協同組合コープぎふ 理事長 大坪光樹 当協組は岐阜新聞社・岐阜放送と共催し、2005 年から毎年作文を募集、戦争体験者の声や平和への願いを冊子にして発行している。第 16 集は、戦争体験聞き書きを 6 編、戦争体験談 6 編を収録。公立図書館などで閲覧可。希望者には 350 円で販売する。 (2022. 1. 26 岐阜新聞掲載)
【事業拡大】 協同薬品工業を子会社化。配置薬事業のシェア拡大を図る
中濃地区関美濃支部：河上薬品商事(株) 代表取締役 河上宗勝 4 月に JA 全農向けにクミアイ家庭薬を製造販売している山形県の協同薬品工業を子会社化。同社グループの顧客は 120 万世帯を超えることとなり、業界再大手の富士薬品に次ぐ規模となる。子会社の社長は河上氏が兼務、約 500 人の販売員の雇用は継続する。 (2022. 1. 28 岐阜新聞掲載)
【新商品】 合格ストラップ販売
西濃中支部：(有)大橋量器 代表取締役 大橋博行 同社は、受験生向けに「合格」と掛けた五角形の升の『合格ストラップ』を販売する。国産ヒノキを利用した職人の手作り品。カラーは 9 種類で 1 個 1,320 円。 (2022. 2. 1 中部経済新聞掲載)
【イベント】 厄よけや新型コロナウイルス収束の願いも込め、恒例の『立春朝搾り』開催
岐阜各務原支部：小町酒造(株) 常務取締役 金武直歩 『立春朝搾り』は日本名門酒会が立春に行う縁起物の行事。全国の 44 蔵が実施したが、県内は小町酒造のみ。例年、地元の酒販店主らも参加するが、今回は感染防止のため従業員約 10 名で瓶詰めからラベル貼りまで行い、同蔵の代表銘柄である純米吟醸生原酒『長良川』2,500 本を出荷した。720ml 入り 1 本 1,760 円。 (2022. 2. 5 岐阜新聞・中日新聞掲載)
【表彰】 大垣市の 2021 年度『男(ひと)と女(ひと)のかがやきまちづくり』表彰
西濃地区北支部：(株)大垣ケーブルテレビ 代表取締役 五十川智宣 西濃地区中支部：(株)ユニテック 代表取締役 古堅宗信 両社は岐阜市より、男女共同参画社会づくりを積極的に推進している事業者として、2021 年度の『男と女のかがやきまちづくり』に選ばれ、表彰された。 (2022. 2. 10 中部経済新聞掲載)

勇 気 凛 凛

コ ロ ナ 禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…



【SDGs】カーボンニュートラル宣言を発表し、100 社規模の協力業者会と連携協定
岐阜地区南支部：三承工業㈱ 潮大地 同社は 2050 年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目標とするカーボンニュートラル宣言を発表、取引先と一体になって進めるために協力業者会と連携協定を結んだ。今回の宣言や協定により中小企業の脱炭素化のモデルとなり、県や市の企業で集中的に取り組みが進む『脱炭素ドミノ』をめざす。 (2021. 12. 28 岐阜新聞掲載)
【新商品】壁に取り付ける仏壇『NUKUMORIの窓』を販売
岐阜地区南支部：㈱やまもく 代表取締役 山田等 同社は幅 43.7 センチ・高さ 27 センチ・奥行き 15 センチの仏壇『NUKUMORI の窓』を発売した。フォトフレーム、仏具 5 点つきで 33,000 円。金具を壁に固定しフックにかけるだけで取付可能。都市部に住む 40、50 代の女性をターゲットに見込む。 (2021. 12. 29 岐阜新聞掲載)
【地域貢献】瑞穂市と、災害発生時、避難所に必要物資を供給する協定締結
岐阜地区北支部：㈱ハイビックス 代表取締役 高井順子 同社は瑞穂市と、災害発生時にエアーマットレスを避難所に供給する協定を結んだ。エアーマットレスは同社が過去に水害を経験したことから開発された製品で、保管時はコンパクトに収納できる。あわせて空気で膨らます枕などの自社製品も供給し、避難所での生活の負担軽減につなげる。 (2022. 1. 5 岐阜新聞掲載)
【新商品】春の定番商品『淡墨のさくら大福』リニューアル
西濃地区南支部：㈱槌谷 代表取締役 堀富則 同社は、材料のもち米『こがねもち』の比率を上げ、あんを北海道産小豆と砂糖、水のみ的配合に変えて、『淡墨のさくら大福』をリニューアルした。あわせてパッケージも、桜の花を全面にあしらったデザインに変更。ウェブサイトや大垣市内外 7 店舗にて、1 個 180 円で販売する。 (2022. 1. 13 中日新聞掲載)
【地域貢献】JR 岐阜駅前の『黄金の織田信長像』縮小版を岐阜市に寄贈
岐阜地区南支部：㈱岩田時計舗 代表取締役 岩田誠三郎 同社は創業 85 周年を迎えるにあたり岐阜市の新庁舎に貢献しようと、自社で販売もしている信長像を寄贈した。岐阜駅前の像と同じ彫刻家の田畑功さんのデザインで、ブロンズ像に金箔が貼られている。ケースと設置台を含めて約 120 万円。 (2022. 1. 15 岐阜新聞掲載)
【新商品】人気ゲームとのコラボ商品販売第2弾発売
中濃地区関美濃支部：ニッケン刃物㈱ 代表取締役 熊田祐士 同社は人気ゲーム『刀剣乱舞—ONLINE—』とコラボしたペーパーナイフを販売しているが、新たに人気キャラクター「山姥切国広」「山姥切長義」をモデルにした 2 種類のペーパーナイフを販売する。掛け台付きで 1 本 4,400 円。 (2022. 1. 18 岐阜新聞掲載)
【社会貢献】子どもや若者を支援する NPO 法人に 14 万 200 円を寄付
岐阜地区南支部：㈱ウメイチ 代表取締役 梅田益生 同社は、5 年前から新成人の写真撮影や貸衣装の利用 1 件につき 100 円を積み立て、子どもや若者を支援する NPO 法人『ぎふハチドリ基金』に寄付している。今年は 1402 人分が集まり、14 万 200 円を贈呈した。 (2022. 1. 21 岐阜新聞・中日新聞掲載)

勇 気 凛 凛

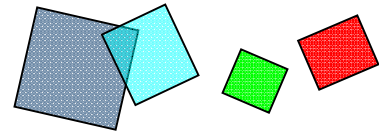
ゆう

き

りん

りん

④



コ ロ ナ 禍

… 厳しい現状に勇敢に立ち向かう気力にあふれた、岐阜同友会会員企業の取り組み（表中敬称略）…

【新商品】ギターデザインの事務用はさみ『Seki Sound』開発・販売

中濃地区関美濃支部：ニッケン刃物㈱ 代表取締役 熊田祐士

代表的なエレキギターであるストラトキャスターをモチーフに、実物のボディの丸みや弦、フレット、スタンドを再現した事務用はさみ『Seki Sound』を開発した。職人が1本1本刃付けを行うため、切れ味もよい。クラウドファンディングで先行販売を開始、支援目標である50万円の達成も目前。

（2021.12.20 中部経済新聞・2022.1.6 岐阜新聞掲載）

【イベント開催】多文化共生をテーマにしたイベント開催

岐阜地区南支部：三承工業㈱ 潮大地

同社は12月19日、JR岐阜駅前信長ゆめ広場などで多文化共生をテーマにイベントを開催した。習字や日本の伝統工芸品に触れられるコーナー、防災をテーマにしたブースなどが設けられ、市民と外国人らが交流を深めた。

（2021.12.21 岐阜新聞掲載）

【新サービス】『Tajimingo<タジミンゴ>』の試験運用で配送を担う

東濃地区：㈱平中サービス 代表取締役 伊藤雅也

トーカイ薬局は、多治見市内限定のオンラインショップと配送のサービス『Tajimingo』の試験運用を開始した。スーパーマーケットのオオマツフードも参加。平中サービスが、市役所本庁舎などに設置された専用ロッカーに薬や日用品を配送する。一部地域は宅配も実施。来年1月7日からは、市内の飲食店3店舗の弁当宅配もスタートする、多治見市民、市内在勤、在学者のみ利用可能。

（2021.12.22 中日新聞掲載）

【新商品】『柿サブレ』リニューアル

西濃地区南支部：㈱槌谷 代表取締役 堀富則

同社は、堂上蜂屋柿でつくった干し柿ジャムや県産ハツシモの米粉を使用、外観も干し柿の形に変え、1960年から販売している定番商品『柿サブレ』をリニューアルした。4枚入り780円。数量限定で来年の干支の寅などをプリントしたプティ柿サブレも販売する。（2021.12.25 中日新聞掲載・12.27 中部経済新聞掲載）

【地域貢献】過疎地の課題解決について小中学校と取り組む

西濃地区南支部・岐阜地区南支部：サンメッセ㈱

同社はSDGsの観点から、県内の過疎地の小中学校とともに地域の課題解決への取り組みを始めた。郡上市美並町の郡南中学校や大垣市上石津町の多良小学校にて、同社の田中信康取締役が講義。郡南中では郡上市に対しての未来への提案、多良小では跡地利用について、同社が助言・提案を行っていく。

（2021.12.27 岐阜新聞掲載）

【新商品】来年の干支「寅」にちなんだもなか販売

中濃地区関美濃支部：(有)虎屋 代表取締役 古田敦資

同社は12月28日から、来年の干支の寅にちなんだもなか『干支最中〜寅』を発売する。北海道産の小豆を使ったあんや栗の甘露煮一粒が丸ごと入っており、1個230円で販売。予約注文も可能だが、なくなり次第、販売終了。

（2021.12.27 中日新聞掲載）

【認定】女性活躍推進への取り組みが優良な事業者『えるぼし』認定

西濃地区中支部：社会保険労務士法人杉原事務所 所長 杉原浩志

同事務所は、正社員や管理職に占める女性労働者の割合、月別平均残業時間などの5つの認定基準のうちの4基準を満たし、県内で10社目となる2段階目の認証を受けた。

（2021.12.29 岐阜新聞掲載）